

こころとからだの健康に貢献

方針・計画

事業を通して人々の健康に貢献していくことは、明治グループが掲げる大きな使命の一つです。赤ちゃんからお年寄りまであらゆる世代の皆さまに向けて、誰もが「こころ」も「からだ」も豊かで健やかに過ごせる社会を実現するべく、さまざまな情報や啓発活動などを通して健康価値を提供しています。

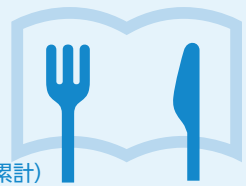
食育活動

健康づくりの源である「食」への知識や理解を深める「食育活動」に力を入れています。「食の大切さ、楽しさ」「食のバランス」「食の安全・安心」の三つを柱に、健康な食生活に役立つコンテンツを提供しています。2018年度から2020年度までの3年間で参加者数延べ50万人という目標を定め、食育の輪を広げていきます。

目標 食育活動参加者数

延べ **50** 万人

(2018年度～2020年度累計)



出前授業 (小学生・中学生向け)

子どもたちが食への感謝や食の大切さなどを学び、幼少期から健康な食生活への関心を高めてもらうためのプログラムを実施しています。従業員が小学校・中学校に赴き、五感を刺激する「お話」と「体験」を組み合わせたカリキュラムで、今後も楽しくわかりやすい授業を行っていきます。



健やかな成長に欠かせない「牛乳」をテーマにした「みるく教室」も好評です

楽しく健活セミナー (大人向け)

大人の皆さまに向けても、食についての新たな「気づき」を得ることで健康な食生活への関心を高めるプログラムを用意し、多彩なセミナーを実施しています。引き続き「地域活動」「企業セミナー」「PTA活動」「介護予防教室」などの場を通して、日々の生活に役立つ情報提供に努めていきます。



「食」について正しく理解していただく大人向けセミナーも各地で開催しています

Voice

子どもたちの興味を引き出す授業づくりを心がけています。

現在、主に小学生・中学生向けの出前授業のコンテンツの作成に携わっています。教育におけるアクティブ・ラーニングの重要性が注目されるなか、授業にグループワークを取り入れて絶えず関心を引き出すなど、子どもたちが飽きないコンテンツづくりを心がけています。出前授業終了後、子どもたちから「食事の大切さがわかりました」「これからは牛乳を残さないように飲みたい」などの感想が寄せられると、この活動の意義を強く実感します。今後は企業や行政との連携をさらに強化し、あらゆる世代の方々に向けて「食」の大切さを伝えていきたいと考えています。



株式会社 明治
コミュニケーション本部 広報部
ダイレクトコミュニケーショングループ

三村 冬子